

令和5年度 第3回ひのみね支援学校運営協議会 議事録

日時 令和6年3月1日(金) 午後2時から午後3時30分

参加者 委員12名 (欠席者2名)

【学校評価総括評価表について】

全学部、総務課、特別活動課、支援課、保健環境課、情報課においては総合評価「A」、研究課、教務課、人権進路課においては総合評価「B」と承認いただいた。

【委員からのご意見・感想等】

- ・各部各課ともプランニング→行動→チェック→フィードバックする流れで行っている。このサイクルを続けて持続していったらよい。
- ・保護者の評価も取り入れてはどうか？
- ・防災カードの裏面に医ケアの項目を加えているのは良い。今後、吸引や呼吸に関してやバッテリーのこと等も網羅されていくのだろう。
- ・防災カードについては、学校外で何か災害に遭ったときに役立つようなわかりやすい表記が今後重要。
- ・地域の方が子供たちの災害時の避難に関して協力いただけるような体制づくりのために、障がいの重い子供たちも地域の中の避難訓練とかに参加し、消防やいろいろな方の協力を得ながら行っていけたら良いのではないか。
- ・PTAとしては行事も復活し、楽しそうにしていると感じている。修学旅行も1泊でき、担任からの連絡もあり安心して送り出すことができた。
- ・生徒はいろいろな地域で住んでいる。それぞれの地域の事業所や個々に応じた進路先を学校から保護者にいろいろと提案したり、事業所や進路先に、ICT機器の活用状況について情報提供もあると良い。
- ・子供さんの進路について保護者の方はイメージできにくいので、学校と一緒に情報交換をしていくことが大事。先輩やその保護者の方と一緒に話をしてイメージを作っていくことも大事。
- ・人それぞれに、保護者の方と一緒に重度の子であっても将来の夢を見つめていけるような進路選びができればよい。好きな趣味を伸ばしていくことができたり、地域の中に出ていくことをしていったりすると地域も変わっていく。

【その他】

- ・来年度の学校運営協議会について